

香美町教育環境会議（村岡中学校区）意見交換の要旨 H26. 8. 21

参加者の質問・意見	回答・コメント
<p>○地域住民</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな教育の取組を聞かせていただき大変感銘した。 ・私たち地域が子どもを育てていかなければならないが、学校が統合すると結びつきが希薄になる。射添・村岡・兎塚小の統合の話がこの段階ですでてくると思っていた。できれば、今後も各学校を残していただく方向でお願いしたい。 	
<p>○地域住民</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これだけ少子化が進むと統廃合の問題が具体的に出てくると思っていたが、先ほどの教育長・課長・各学校の校長先生の話を知っていると、このまま統合せずに教育を続けてもらえると思えば大変うれしく、心強く思った。そのような中で多種多様な教育に取り組んでいただけており、地域に根差した児童・生徒の育成に力を入れてもらっているというプレゼンを聞かせてもらった。最近テレビではタブレット端末を使った学習方法も言われているが、そのようなことも今後取り組んでもらえると思っている。 ・特にこの地域では、いかに地域に子どもたちを残すかが問題となってくる。楽しい学校・楽しい家庭・楽しい地域が大切だと思う。そのような取組を十分してもらえると安心した。 ・今後も、学校の先生方の教育に対する取組に対し、地域も一生懸命子育てや子どもの教育に頑張りたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレット端末については、小学校には村岡区の3小学校(村岡、兎塚、射添)、小代小学校、中学校には香住一中、二中、村岡中学校では既に導入しており、それ以外の学校でも今後導入していく。
<p>○地域住民</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参考までに教えてほしいが、3小学校の内、射添小学校だけが児童数が増えているが、その要因について把握しているか？ ・(長板区長)これについては分析が難しい。私の村について見てみると、小学生未満が多く、11、12人いると思う。若い世代が多く1戸に2、3人子どもがいる。入江に新しい住宅があり、その影響もあるかもしれない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・長板区長さんがよくご存知かと思うのでお願いできないか？ ・香美町では今、射添校区で児童がふえているが、もう一つ増えている所がある。余部地区の御崎分校で、これは地域の思いが非常に強い所であり、若者に「帰ってこい」という家庭教育を徹底しており、今帰っている若い世代の人たちが、また自分の子どもたちを同じように教育している。これが何十年もずっと続

	<p>き、御崎分校の人数が増えており、余部地区全体の子供たちの人数も多少回復してくるという傾向がある。</p>
<p>○保護者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、中学生の子どもがいて、一番遠い所に住んでおり、通学面で一番困っている。全但バスで通学しているが、土曜日の部活のあと、12 時前のバスがあるが、遅くなるとバスがなくなり、迎えにいかねばいけけない。土曜日だけでもスクールバスで送ってもらえないか？丸味に上がる時に香住方面も送ってもらえないか？通学面について、もう少し考えてほしい。今いろいろ中学生とかが巻き込まれる事件が起きており、いづどこでどういうことが起こるかわからない。遠い所で子どもを預けていて一番不安なところである。 ・存続、存続という前に、親たちが何を感じているかということが大事では？今日の内容とは関係ないかもしれないが、なかなか思っても言えないこともあり、今日は良い機会だったので出席させてもらった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今の内容については、個別な件になるのでまた機会を設けたいと思う。 ・村岡中学校については既に統合しているので統廃合は考えていない。今の校舎をできるだけ早く改修していきたい。中学校に向けて小学校をどうするかという会議である。教育委員会は当分統合をしない方向で考えていきたい。その理由については先ほど説明させていただき、学校も同じような思いでプレゼンテーションをさせていただいた。今日は皆さんには、「どうするのか？」ではなく「私たちはこうしたい」というプレゼンテーションをさせていただき、それについて心配があることは意見として聞かせていただき十分に話し合いをしたいと思う。 ・今あった通学の問題は、統廃合に大きな壁となる。政府の考えは、小規模校を統合して財源を確保したいが、国全体の予算が限られているため、統廃合を進めることにより浮いた財源を回したいということがはっきりと説明にあった。日本の国には、私たちの町のような小規模校が残っており、そこで教育している。そこを引き上げていき、財源を違う所でさらに活用するというのが、私たち地域にとって望ましいことがどうかということを考えたときに、どうしても教育は低下していくし、今までどおり、地域の子もたちを地域で育て続けることはできない。 ・村岡・兎塚・射添小学校では 36 人の正規職員以外に加配とかいろいろな先生がいます。そういう先生を村岡小学校に1つにまとめた時に、おそらく 20 人近く減らさなければならない。香美町全体では 200 人から 80 人程度の先生で良くなる。1400 人の小・中学生を 200 人で育てると、80 人で育てるとどちらが良いかと考えた時、単純に私は 200 人だと思う。「人数が少ないので心配だ」「切磋琢磨しない」という不安に対してスーパー連携チャレンジプランとかいろいろな取組をしていきながら、一つの起爆剤としたい。ただそれが目的ではなく、一番大事なものは、今のプレゼンで校長が一生懸命語ってくれた、こんなにすばらしい学校が今、目の前にあるということだ。これをもつ

	<p>とものと磨いて、全国に自信をもって「この環境で育てられるのだ」と発信していきたい。そして足りない分はお互いに協力し合いながら頑張っていく、これが香美町の進めていく教育である。そういうことを今日のご理解、ご支援いただきたいと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> •現状のなかでバスの対応等について、今以上のことが考えられるかという、難しい状況です。公(行政)が行う部分と、私(個人)のところで頑張ってもらう部分で何とかご理解いただきたい。
<p>○保護者</p> <ul style="list-style-type: none"> •今日のプレゼンテーションを見せてもらい、すごくありがたいと思った。今子どもが幼稚園だが、これから小学校に上がっていくのに、新聞等でも統廃合の話があり、小学校1年生がどうやってバスで通うか親としてはとても不安があった。中学生は体力的にも大丈夫だが、小学校1年生が朝早く起きてバスで通って5時間目まで勉強して家に帰るとなると、学校どころではなくなってしまふのではと思っていた。今日のプレゼンテーションでいろいろな取組を見て、ありがたいと思い安心した。幼稚園でもいろいろなことをさせてもらっておりありがたい。学校を存続してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> •統合する場合のポイントは、子どもの立場でいえば、なかなか競争心がつきにくい。「今の子どもは弱いしどうなのか?」「もう少し多い人数で子どもを育てたい」という保護者の声もある。それは皆さんも理解できると思う。教育をする時に大切なことは、子ども同士で磨き上げることが一つのポイント。もう一つは、学校・親・地域が子どもをしっかりたくましく磨き上げる。今大人数にしたいが、子どもが増えない理由は皆さんわかっていると思うが、少人数家庭の1人の子どもをどうやってたくましく育てるか、これは家庭教育の責任です。教育の一番の責任者は保護者です。そのうえで学校教育が成り立っている。たくましく育てるということは、子ども同士の切磋琢磨も大切だけれど、1人1人の子どもをどう磨き上げるか、その教育を考えなければならない。私たち教育者は大人数の授業、学級のなかでたくさんの子どものをいかに効率よく授業するかという教育を進めてきた。教師の視点が一斉指導から子どもに少し視点をあてるようになってきた。ところが、切磋琢磨したくても今は昔のようにできなくなってきた。いじめやけんかがあった時には、すぐに保護者の皆さんから苦情がくる。今は昔のように先生主導の教育は難しい。小規模校でも、どう一人一人を磨き上げるかという指導方法・内容を考えていかなければならない。今日は、小規模校で子ども一人一人に愛情を持って、先生・保護者・地域が一緒になって磨き上げるという発表をさせていただいた。かわいい子どもたちを一生懸命鍛え上げる教育に変えていかなければならない。 •香美町の中ですごいと思う所が2つある。1つは長井小学校で、各集落の方が引継ぎしながら1年生から3.6kmを一緒に歩いて通学している。雪の日も高学

	<p>年が低学年を引っ張って泣きながら学校に通っている。県の教育委員会もこんな教育をしているところは他にないと感動していた。</p> <ul style="list-style-type: none"> •もう一つは香住第二中学校で、冬でも通学バスで通った方が良くても自転車、徒歩通学を続けている。こういうことが粘り強い子どもを育てると思う。教育環境を考えるとときにこういったことが大切になってくる。私たちの住んでいる所にはまだそういったチャンスが残っている。統合してしまった後では、なかなかできない。この素晴らしい環境の中で鍛え上げ、将来を担ってくれる強い子どもを育てていく。そしてこの地域に残ってくれる子どもを育てていきたい。また、出て行った子どももこの地域を思い、この地域のために尽くしてくれる大人になってもらいたいと思う。
<p>○保護者</p> <ul style="list-style-type: none"> •今日は小学校存続ということで、話の中でも3本の矢ということで射添・村岡・兎塚の3小学校の連携ということでチャレンジプランの話があったが、射添小では、村岡・兎塚小ではなく小代小との組み合わせが多くなっている。中学校は3小学校が村岡中学校の校区となるが、小学校の存続という方向でいくなら、3本の矢の1本が射添小学校であるということも考えて、チャレンジプランの組合せを配慮いただけないか？ 	<ul style="list-style-type: none"> •香美町のチャレンジプランは中学校をイメージするのではなく、小学校における多人数授業を成立させたいということを第一の目標としている。香住区(Aグループ)と村岡区・小代区(Bグループ)に分かれており、Bグループのなかで多人数授業をどのように構成していくかを考えた時、4つの小学校を一度に集めて大人数授業を考えたが、かえって人数が多すぎて授業としてはなかなか難しく、児童の運搬もなかなか難しい。このような状況を校長会で話し合いした結果、近隣の2校ということで組合せを考えた。ただ、中学校区ということで、3つの小学校の連携も加え、かなり変則的になっている。学校側でも自然学校やいろいろな事業で3つの学校で連携できないか模索している。 •今の意見もわかるが、現実的に3つにすると小代小が1つ残ってしまうことになる。今のご意見も尊重しつつ、できる限り可能な体制をとっていけるよう、今後校長会でも話し合っていく。